

論文審査の要旨
(Summary of Dissertation Evaluation)

博士の専攻分野の名称 (Major Field of Ph.D.)	博士 (教育学) Ph.D.	氏名 (Candidate Name)	WAI WAI KYI
学位授与の要件	学位規則第4条第1・2項該当		
論文題目 (Title of Dissertation) Comparing Science Education in Lower Secondary Schools in Myanmar and Japan: Science Curricula and Science Teacher Education			
論文審査担当者 (The Dissertation Committee)			
主 査 (Name of the Committee Chair)	教 授	磯崎 哲夫	
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)	教 授	中條 和光	
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)	教 授	竹下 俊治	
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)	教 授	清水 欽也	
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)	准教授	梅田 貴士	
〔論文審査の要旨〕 (Summary of the Dissertation Evaluation)			
<p>本論文は、ミャンマー連邦共和国（以下、ミャンマーと略記）と日本の前期中等段階における科学教育（日本では一般的に学校教育では理科教育であるが、以後は科学教育とする）を対象とし、比較の主体をミャンマーに、客体を日本とし、比較教育的アプローチに基づき、意図したカリキュラムと教師教育の視座から、2カ国を分析し、両国の科学教育の特色を明らかにしたものである。</p> <p>論文構成は、次の通りである。</p> <p>第1章では、研究の背景と目的、先行研究の分析、研究方法、両国の教育制度などについて論じている。本章は、その後の第2章、第3章で取り上げ分析する視点や方法を提供している。</p> <p>第2章では、意図したカリキュラムである国レベルのカリキュラムとそれが具体化された教科書を取り上げ、特定の学習内容（光と音）に焦点化して分析を行っている。その結果、日本では、学習指導要領により、実験・観察などを中心とした探究活動がより強調され、教科書においてもそのプロセスが図示される程度であることから、探究活動は、日本の科学教育の特色の1つであることを指摘している。また、ミャンマーの教科書では、重要な専門用語は英語併記であるのに対し、日本の教科書は母語のみである。このことから、この専門用語の英語併記は、日本の科学教育においてもグローバル化を考えると参考になる点であることを指摘している。</p> <p>第3章では、効果的な科学教育を実施するために、教員養成教育と教員研修の両方の視座から分析を行っている。教員養成教育に関しては、国レベルの施策が具体的に教員養成機関においてどのように反映されているかを分析している。特に、大学における教員養成段階でどのような教師知識を育成しているかの視座から分析を行っている。他方、教員研修に関しては、ミャンマーに関しては国レベルの研修を、日本に関しては国の施策が地方自治体の教育委員会によってどのように具体化され、特色ある研修が実施されているか、を中心に分析をしている。両国の比較の結果、日本の教師教育は養成の段階から研修の段階まで、より継続的でシステムチックであることを指摘している。</p> <p>第4章では、結論として、カリキュラム、教科書、教師教育における比較研究の観点から、教育の</p>			

改善点について論じている。特に、本研究の成果が、政策決定者や教師教育関係者に、今後の政策に必要な視点を提供できることを論じている。また、本研究は理論的研究が中心であるため、理論と実践を往還するために、実践研究の必要性を述べている。

本論文は、次の3点で高く評価できる。

1. 本研究は、教育に関して一方が他方から学ぶという視点の比較ではなく、比較の客体と主体を同列に扱い、両国の特色を明らかにし、そのことを通して科学教育を向上させるための方略について論じている点である。
2. 本研究は、理論的研究を中心としながらも、より精緻な比較ができるように比較の客体でのフィールドワークを実施し、理論的研究を補足している点である。
3. 以上の2点の特色を有したことにより、科学教育研究における比較の目的と方法に関する1つの方向性を示している点である。

以上、審査の結果、本論文の著者は博士（教育学）の学位を授与される十分な資格があるものと認められる。

令和 5年11月 2日

備考 要旨は、1,500字以内とする。

(Note: The summary of the Dissertation should not exceed 500 words.)